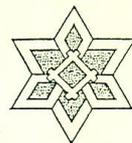


ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和4年4月8日発行
(本年度1-①号)



教育目標

自ら学び 豊かな心を持ち たくましく生きる

令和4年度が始まります。

うらかな陽光の季節を迎え、学校の桜も澄んだ青空に淡いピンクの花びらを開いて新学期のスタートを飾っています。保護者 地域の皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルス感染症は、収束の兆しも見えないままですが、できることを工夫しつつ積極的な教育活動が可能となってきました。しかし、依然として活動には制約があり、感染防止対策も怠ることはできません。子ども達の安心 安全な学校生活を目指して、マスクの着用やアルコール消毒、新しい生活習慣の実践はもちろん、可能な範囲での感染防止の取組を引き続き進めてまいります。

本日は、令和4年度第1学期始業式を実施し、全校児童102名(新1年生含む)が新学期に夢と希望に胸をふくらませ、新学期をスタートしました。また、来週11日には入学式を控え、新1年生17名が新たに「チーム福井」に加わることになります。子ども一人一人が「福井っ子パワー」を発揮しながら、優しい心を持ち、目標に向かって粘り強く努力する力や、自分で考えよりよ判断し自信を持って行動する力を育みたいと思います。

昨年度は一人一台のタブレットが配備され、授業中に端末を操作する姿が当たり前になってきました。本年度は、さらに活用の幅を広げ、授業のツールとしてはもちろん、練習問題やテスト、家庭学習などにおいても積極的にICT活用を進めます。デジタル機器が生活の中に当たり前で存在する社会を生きる子ども達にとっては、学習の仕方そのものも変化しており、時代の流れにしっかりと乗ることができる力を育てたいです。

一方、子どもの成長にはアナログな世界も必要です。学習で身に付けた学力を上手に具現化し、豊かなコミュニケーション能力を高めるとともに「人とのつながりを大切にする力」の育成は、本校のテーマでもあります。人の心はデジタル化できない奥深さがあります。命の尊さを知り、思いやりのある優しい心を育むためには、心と心が通い合う温かい人間関係が必要です。デジタルとアナログ双方の良さを生かしながら、楽しい学習環境や教育活動を工夫し、子ども達の学校生活が、楽しく生き生きとしたものになるよう取り組んでいきます。

今年度、本校では、次のような教育目標を掲げ実践していきます。一人一人の子どもが、お互いを思いやり、友達とともに学び高まり合うことに幸せを感じられる学校を目指したいと思います。

学校教育目標

自ら学び 豊かな心を持ち たくましく生きる 子どもの育成

めざす子ども像

自ら学び続ける子 【和】 人とのつながりを大切にする子 【徳】
心もからだもきたえる子 【体】 ふるさを愛し誇りに思う子 【ふる里】

学校経営テーマ

つながりを意識し豊かな人間関係が息づく(学校をつくる 作る 造る 創る)
人與人 子ども教師 保護者)をつなぎ温かい人間関係をつくる。
小中の学びをつなぎ、確かな学力をつくる。
学校 家庭 地域をつなぎ、信頼される学校をつくる。

城北中学校区教育目標

自らの未来を切り拓く「生きる力」を身に付けた、次代を担う児童生徒の育成

城北中学校区小中一貫教育も、今年度で7年目を迎えます。中学校区小・中学校5校(城北中・余内小・明倫小・吉原小・福井小)が、校区は一つを合言葉に、「自らの未来を切り開く 生きる力の育成」を目指して各校との連携を密にしながら、学校づくりを進めていきます。

保護者 地域の皆様におかれましては、本校教育活動に対して、本年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 波多野 暢 教職員一同